



**N.S.ニュース速報A**

**NSDAP/AO : PO Box 6414**

**Lincoln NE 68506 USA**

**www.nsdapao.org**

#1084

23.12.2023 (134)

**ミヒャエル・キューネン (Michael  
Kühnen**

# **政治的な兵役： SAの伝統と精神**

第7部

今日の政治家

ノイエ・フロント」、それは私たちが「運動の状況に関する情報レター」とも呼んでいるもので、禁止令以来毎月発行され、私たちのゲシュタルトの内部結合を保証し記録しています。私たちの同志は、ドイツ連邦共和国中、そしてオストマルクに至るまで、何十もの「新生戦線」の読者サークルに集まっているのです。ANS/NAが追放されて以来、私たちを結びつける組織的な絆はありませんでした。なぜなら、私たちは追放された勢力とともに地下に戻ることを望まなかったからです。いずれにせよ、ANS/NAは、シュトルム・アブテイルングにとって不可欠であるように、背景から退き、運動全体の戦闘的なバックボーンを形成するに過ぎないはずであった。しかし、禁止令は、たとえ背後に強固に組織された勢力がなくても、我々の共同体が、プログラム、戦略、戦術に関する共通の理解によつての

み保持される純粋な思想の共同体として生き残るのに十分強固であるかを確認するテストとして現れなければならなかった。禁止されてからの数ヶ月は、まさにそのことを印象的に証明しました。私たちの **Gesinnungsgemeinschaft** は、単に生き残っただけではなく、いや、今日、**NSDAP** と **SA** の歴史的伝統を受け継ぎ、1945年以降のすべての取り組みと努力を受け継ぐ、卓越した国家社会主義運動となった。

私たちの隊列の中で、立っていた、立っていた：

**NSDAP** とその下部組織の古い闘士たち、そして **SRP** と国家社会主義者の最後の忠実な人々も、**DRP** と **NPD** への信仰を保っています。**BDNS** や **NSDAP** の友、**NPD** の騎士団、**Aktion WIDERSTAND** や **ANR**、ヨーロッパ解放戦線の前線戦士、**NSDAP/AO** の現役メンバーも私たちと一緒にいます。私たちの若い同志の中には、各国の青年同盟のライフスタイルから生まれた者もいるが、**Volksozialistische Bewegung** や **Wehrsportgruppe Hoffmann** の闘争と失敗によって、その存在が明らかになった者もいる。友人や支援者は、名誉会員の騎士十字章受章者 **オットー・リークス** や第三帝国南部最後の宣伝部長 **ヴィリー・クレーマー** といった人々です。レマー少将は、かつて総統に対する反動的な暴動を鎮圧し、当時 **SRP** のリーダーであり、1984年の夏、7月20日の記念日に開かれた我々の集会で100人を超える同志に語りかけた人物で、この戦闘的で政治的な若者を誇りにしています！

**私たちは継承者であり、私たちは今日のムーブメントである！**

ですから、この思想共同体は、今や新しい **SA** 以上の存在になっていますが、それでも若い闘士たちが **シュトルム・アブテイルング** の伝統と精神を公言して生き続けてこそ、成り立つものなのでしょう。未来がどうなるかは、依然として不透明です。しかし、たとえ困難な日や危機が訪れたとしても、これまで起こったこと、達成したことを消し去ることはできません！私たちのコミュニティは、何度も何度も、このような生活態度から自らを更新し、団結し、この伝統から力を引き出すことができます。

そうすることで、**SA** の伝統の9つの側面が独断的に確立され、最初から私たちの部隊に押し付けられることはなかった。それは、国家社会主義運動が生まれ変わることによってのみ、国家社会主義が再び

成功することができるという認識から始まった。"NATIONAL SOCIALISTS BELONG IN A NATIONAL SOCIALIST ORGANISATION!"。

私たちは、NSDAP/AOと共通するこの決定的な活動基盤を持っていました。しかし、彼らが、非合法に活動する細胞によって、プロパガンダの地下組織での再生に取り組んでいたのに対し、我々は、SAの伝統に則って戦うことにした。この当初の構想への追加から、我々は、長い熟成の過程で、多くの失敗と苦い損失と挫折を通して、これが今日具体的に何を意味するのかを学んできた。現在8年になるこの途切れることのない闘いと、再生への道における最終的に最初の明確な成功の経験から、私たちはSAの伝統の記述された9つの側面を認識し、歴史的SAの歴史を背景にそれらを明確にした。

今日、私は、私たちの闘いのさらなる成功は、若い活動家たち、特に過去数年間を経験しておらず、私たちにとって新しい活動家たちが、私たちのように政治的兵士に成熟し、政治的兵士のこの伝統を理解し、私たちがその間に学んだ方法で彼らの生活の中でそれを実現することにかかっていると確信する。今日の政治的兵役-それは、この伝統の9つの側面が、私たちの新しいSAの歴史の中でどのように証明され、将来的に適用され実現されなければならないかという疑問に対する答えでしかありえない：

- 革命的兵隊さん同盟
- 政治的に統合された革命的人民軍のコア
- NSDAPのSturm-Abteilung。
- 武力倒幕の否定
- 不滅の思想共同体
- SA精神の生きた事例を通して働く。
- ドグマティズムとの戦い
- 犯罪組織ではありません。

1977年にハンブルグで始まったとき、そこにはすでに数十人からなる国家社会主義者の安定したグループがあった。しかし、それは本当の組織ではありませんでした。人々はいずれかの国の協会に所属し、お互いを知っていましたし、若い活動家たちはNSDAP/AOの枠組みの中で、あるいは自分

たちだけで違法な夜間宣伝活動を行うこともありました。しかし、私たちのSA嵐は、1977年末までにわずか10人のメンバーを組織しました。一方では、彼らのほとんどが、通常通り続ける代わりになぜ大きなリスクを負う必要があるのかをまだ理解していなかったため、他方では、私たちが厳しい選別を実践し、全員を連れて行くわけではなかったからです。もちろん、最初の1時間のSAマンは、意識的で確立された若い国家社会主義者でしたが、それが他の人たちと違う点ではありません。私たちとハンブルクの他の国家社会主義者との違いは、彼らの生活態度にあった。私たちの男たちは、ブルジョア的な生活態度を維持し、ブルジョア的な公式の政治形態を維持しながら、美辞麗句の似非ラディカリズムと決別する覚悟ができていた。そして、彼らは皆、連邦軍やWhrsportgruppenの出身であり、ODの伝統に意識的に立っていたハンブルクJNや、北ドイツの長老たちが当時NSDAP/AOに強い影響を受けていたヴィキング青年たちであった。このように、SAへの伝統の第一線は、ハンブルクNSの現場からの実際の革命家たちの態度や生活史から、ごく自然に生まれた。このことは、命令されたり、説教されたりするまでもなく、私たちは最初から、革命的な兵士の集団であった。

これは、私たちが共同体として成功し、生き残るための最も重要な前提条件でした。この精神に基づき、私たちは、新たに私たちに加わった、もはやJNやWJの学校を経ておらず、路上から直接私たちに引き抜かれた若者たちを意識的に教育した。今日、古い全国組織から来た者はほんのわずかです。新しい同志のほとんどは民衆から直接来たものです。一方では、これは非常に希望的な兆候です。なぜなら、私たちが全国的なゲットーを破ったことを証明し、したがって、将来の大衆的基盤に希望を与えることができるからです。しかし、それはまた問題でもある。というのも、革命的かつ兵士的な生活態度を同時にとることは、FRGの若者にとって、--第一次世界大戦の帰還した前線兵士や歴史的SAの彼らの若々しい崇拜者たちとは違って--当然のことではないからだ。したがって、ブルジョア体制への適応や妥協のために、我々の精神やスタイルを決して犠牲にしてはならない。我々とともに、若い国家社会主義者も、将来、政治的な兵士になるように訓練されねばならない。これは、われわれのゲゼルングスゲマインシャフトと、新しい世代のNS運動全体のバックボーンである。このような生活態度がなければ、我々は政治的無価値の長い夜に逆戻りしてしまうだろう！

国家社会主義者は国家社会主義者の組織に属する」という原則に従って、私たちは、私たちが多くを負っている生活態度の全国青年会とは異なり、一般的な国家政治告白と軍人としての生活態度を組み合わせたあらゆる共同体に属し、それを構築することに自分たちを制限しない。我々は、すべての国家社会主義者を集めるのではなく、従う準備ができていない者だけを集めるのだ！」という原則に従って、70年代初めのNS Kampfgruppenの先達とは異なり、我々はまた、ただのNSグループを設立しませんでした。私たちは、非政治的なノスタルジーからこの伝統的な呼称を選んだのではなく、NSDAPの再創設にのみ、国家社会主義を輝かしい再生へと導く有望な方法を見出したことを示すためであった。同時に、NSDAP/AOに従属することで、この新しいNSDAPがまだ再び存在しないこと、そして早急に、急いで設立することができないことを文書化したのである。

しかし、NSDAP/AOの地下細胞とは異なり、私たちは、プロパガンダ的な地下闘争だけでなく（おそらく主なものでもない）、何よりも新しいSAの隊列における開かれた政治的闘争が、この再生を可能にすると信じていた。この闘争を通じて、一方では、望ましい党の新しい基盤のための組織的中核が集まり、他方では、この新しい基盤を政治的に可能かつ有意義にするように政治状況に影響を与え変更できるだろう。それからの私たちの歩みは、こうした私たちの考えが正しかったことを示すものでした：

新しいSAだけが、国家社会主義ドイツ労働者党の再確立につながるのです！この8年間で、私たちは良い進歩を遂げました。

私たちが時間の経過とともに明確な立場を見出した問題の一つは、武装抵抗行動の正当化と意味の問題であった。「狼男」の道徳的正当性については、私たちの心の中に疑いの余地はなかった。絶え間ない迫害と抑圧は、同志たちに「本当の」地下組織に入るという誘惑を常に生じさせた。SAストームでの私の最初の副官を含む何人かは、この間違っただ道を歩み、失敗しました。全体として、私たちは、そうすることによって支配体制の罠にはまるだけであることに気づき、**武装した確証**を明確に拒否するために闘い抜いたのである。1923年11月9日の教訓は、私たちにこの姿勢を維持することを要求している！

当初から、確信に満ちた革命家として、我々は、ブルジョア体制への諦観的な適応の道を厳しく拒否した。苦い経験の後、我々は、武装抵抗への誘惑を支配体制の罠とみなすことを学んだ。しかし、宣伝的地下活動や NSDAP/AOの地下細胞の枠組みの中での粘り強い、忍耐強い小規模な活動は、生命と共同体に対する我々の戦闘的・兵士的感情にはあまりにも小さく、あまりにも不十分であるように見えた。つまり、第一次戦闘期の例に従って、SA精神の例を通して働くことであった！

迫害や脅迫、それに関連するすべての問題、苦しみや犠牲、自分の意見のための裁判や投獄にかかわらず、私たちは国家社会主義者であることを告白し、絶望的な状況でも戦い続けたという事実、そして、私たちの揺るぎない抵抗の意志によって、どんな時でも体制による弾圧に対抗したという事実、これは、新しい若者たちに手本や模範として影響を与え、ついに私たちのコミュニティが新しい世代の国家社会主義運動における主要な力になりました。組織が崩壊し「休眠」状態にあった1980年から1982年の組織史的に最も暗い時期でさえも、SNEは真のロールモデルであり、最も魅力的な運動であり続けた。このことは、1983年の躍進で明らかになり、我々の勢力に対する弾圧とその指導者の投獄の年月は見事に失敗することになった。しかし、私たちは、ANS/NAを追放することによって、この活動に対する最大の評価を体制から受けた。その正当化の理由は、次のように述べられている：

**"SNE/NA "の反憲法的な活動は、同団体を禁止することによってのみ阻止することができる。SNE/NAの主要幹部が過去に受けた有罪判決は、SNE/NAの活動や政治目標に何の影響も与えていない。SNE/NAの主要幹部は、有罪判決によって、自由民主主義的な基本秩序に対する拒否感が強まったと感じただけである**」。

内務省がうまいこと言ったように、有罪判決は「何も達成しなかった」ので、私たちの活動は禁止することでしか「止める」ことができなかつたのですが、これも失敗であったことを証明することになりました。しかし、1945年以降、それらはすべて、それぞれのケースで、具体的な組織を破壊するという目的を達成したのである。戦後のどの民族政治的、民族革命的組織も、その禁止令を乗り越えたことはない。我々の部隊だけが、闘争時

代のNSDAPやSAのように、また戦後の団体とは異なり、国家社会主義者のシュトルム＝アプテイルングとしての自己理解、したがって、信じられないほどの共同体としての自己理解のおかげで、禁止を生き延びた！私たちの共同体は、1980年の元指導者全員の投獄と1983年の禁止令を生き延びたのである。私たちは知っています：私たちの意志は、システムよりも強いのです！

当然のことながら、私たちのコミュニティには「反動に対抗する」という義務もありました：

この反応は、当初、国家陣営の反動的な団体の保護とカモフラージュから離れたくない「口先だけの国家社会主義者」の恐るべき適応として私たちに突きつけられ、支配体制との妥協という「快適」で「簡単」な道を取る誘惑となり続けています。この誤った道は、苦しみや犠牲や迫害を「だましだまし」避け、なおかつ政治的活動を許しているように見えるので、我々の共同体にとって最大の内的危険である。しかし、この活動は、そのとき、体制の遊び場での政治的自己満足にすぎず、もはやドイツの自由のための政治的闘争ではない。国家社会主義者は国家社会主義者の組織に属する」という我々の最初の指導原則によって、我々は当初から反動に反対する戦線を張ったし、それを堅持しなければならない。しかし、我々はまた、反動の他の多様な形態を認識し、それらが我々の思想の世界と生活態度に侵入するのをたゆまず阻止し、追い払わなければならない！

同じ絶え間ない警戒が、「犬儒主義との闘い」（この戦線は、上述のように、我々の共同体が、「SS派」の組織的に有害な活動が危険な危機に発展したとき、その日の終わりに初めて認識し採用したものである）においても行使されなければならない。我々の共同体は、イデオロギー的なセクト主義や党の路線からの逸脱を受け入れてはならないし、分派や派閥の自己理解に向かう組織的傾向も受け入れてはならない。また、自称領主による権力の偽善的主張も、あらゆる形態のドグマティズムの典型であり、我々の仲間内の同志愛を毒して、我々の存在と共同体の基礎を危うくするものであるから、絶対に受け入れられない！

非合法から生まれ、体制とそれが及ぼす抑圧に直面したときの我々の内

なる平静、強さ、主権の多くをこの事実に負っているが、それでも我々は決して「非合法のカルト」を実践してこなかったのである。それどころか、1977年11月にSNEが設立されて以来、さらに1979年末に当初の地下SAとそのスタッフが失敗して以来、我々は、国家社会主義の政治的兵士の真の任務は、組織的な地下運動の構築ではなく、人々への道、告白、手本、犠牲、献身を通じた仕事、それを通じて若者にとって、国家社会主義は再び見え、経験することができ、再び手本となりうることを認識していた。しかし、NSDAP/AOが提唱したような違法なプロパガンダの必要性を決して否定するものではありませんが、目的は同じだからです：

### **NSDAPの再興と、最終的な再度の権力掌握！**

このことだけでも、私たちの合法性へのコミットメントが、支配体制の正当性や存在意義を認めることを含んでいないことがわかる：私たちの目には、裏切り、敗北、勝者の意志への服従から生まれた西ドイツの国家構造は、それ自体が最初から違法で非合法であり、半植民地的な地位を持つアメリカの保護国であると映っているのです。この体制について我々が認め、現実的に認めなければならない唯一のことは、その事実上の存在という事実である。我々はこの存在を認めないが、その存在に留意せざるを得ない。なぜなら、支配体制によって、FRGで国家社会主義者として働き、その理念のために戦うために、どのような政治的可能性が存在するのかにも留意したからである！

つまり、私たちの合法的な闘いの結果は、適応ではなく、自由の利用と拡大であり、それが不可能な場合には、迫害と抑圧を引き受け、「ドイツ史上最も自由な国家」の偽善を暴露するために民主主義者の牢獄をくぐるという意味である。すでに述べたように、私たちは、公開されたナチスのプロパガンダをNSDAP/AOに任せ、ナチス禁止令の解除要求に集中することによって、合法性への道を見出した。

さらに、私たちは、歴史的NSDAPの復活を求めるのではなく、新しい世代のNSDAPの再創設を求め、最終的に、戦勝国によって「犯罪組織」であるとの無罪判決を受けたSAの伝統の中に自分たちを明確に位置付けた。歴史的NSDAPの犯罪的性格に関するニュルンベルクでの戦勝国の



「評決」は、連合国によって国際法に違反するNSDAPの禁止を正当化するために使われたものであり、今日でもこの禁止を継続する根拠となっている。しかし歴史的NSDAPはもはや存在せず、直系の伝統が断たれた結果、もはや復活することはできない！

ANS/NAの追放はすでに、体制が仮面を降ろし、勝利した勢力の「評決」さえも許さないほどNSの禁止を恣意的に広範に定義したことを示した。このことは、1985年1月、私がフランクフルトの国家保安裁判所から3年以上の禁固刑を言い渡されたとき、すでに、先に引用したANS/NAの自己定義が、SAの伝統に基づく新しいナチ運動の法的部門とそれに基づくプロパガンダであることが、確定した。同志の迫害や投獄があつたにもかかわらず、SAは犯罪組織ではないというニュルンベルクの「評決」に訴えたことで、少なくとも私たちの組織は守られ、合法的なナチスのプロパガンダにわずかな余白を作ることができた。

禁止令とフランクフルトの判決によって、これは変わった。この自己定義の法的意味はこうして減少した。もし我々が合法的に活動を続けたいのであれば（そして我々はそうしたいし、そうしなければならない）、我々は再びこの宣伝の形態を完全にNSDAP/AOに任せなければならない。このため、長年の抑制の後に再び重要性が大きく増し、我々は戦術と具体的問題の利用という実践的問題に集中しなければならない。とはいえ、我々の同志に対する訴訟は引き続き行われるであろうから、無罪判決への訴えはSAにとって依然として重要である：それはもはや法的訴追から何ら保護するものではなく、今やさらに重要なことを成し遂げるのである：

それは、国家弾圧の恣意性と、国家社会主義に向けられた国家保護司法全体を明確に暴露するものである！これらは、歴史的なNSDAPに象徴される国家社会主義が犯罪的な性質を持っており、それゆえ、その継続は「自由民主主義」においてさえも犯罪として訴追されなければならないという戦勝国のニュルンベルク評決に、その正当性を求めているのである。

この「裁き」を認めることなく、私たちは、真実に従って、自分たちが歴史的なNSDAPを継続したいわけでも、継続できるわけでもなく、新し

い基盤を求めて努力している新しい世代に属しており、無罪となったSAの伝統にも従っていることを指摘したとき、自分たちを何も許しませんでした。しかし、この新しい財団やその組織の前身は、「犯罪的」と評される旧ナチス組織を継承することはできません。ナチスの禁止法は、私たちにはまったく関係なく、基本的に私たちには適用されません。ナチス禁止法は、私たちにはまったく関係なく、基本的に私たちには適用されない。したがって、支配体制の論理においてさえ、いったん「犯罪者」の烙印を押された組織がその活動を継続することを不可能にする役割を果たすことはできない。ナチス禁止法は一方で、歴史的NSDAPから生まれたわけでも犯罪目的を追求するわけでもない若い国家社会主義者による現在の体制批判的反対運動を抑制する役割を果たしている（周知のように、政治形成過程を「ブルジョア」コードに対して測ることは決してできずどこにもないので、これは実際には何であるか問われなければならない）。この実現は、私に対するフランクフルトの国家保護裁判の結果である。ここでは、うんざりするような偽善、思想と意見の自由のフレーズが、望ましいすべての明確さで明らかにされている！私たちは、新世代のNS運動に属すること、SAの伝統に則った政治的兵士であること、犯罪目的を追求しないことを主張し続けるだろう。

私たちは、「犯罪者」と呼ばれ、1945年に粉砕されたあの古い組織には属さないし、属すこともできないと何度も何度も指摘することになるでしょう。若者はこの偽善を認識し、今日すでにある程度認識している。そして若者は、その政治的立場がどうであれ、健全な本能で常に偽善を憎んでいる。体制は、反対者を公然と迫害する勇気を見つけることができず、自らの論理によれば、勇気を見つけることもできないので、迫害と偽善を続け、意見のために人々を投獄し、政治犯がいることを否定し、新世代の国家社会主義への我々の取り組みに耳を傾け、元ナチの組織の努力を継続する我々を非難するだろう - しかし、そうすることによって、裁判ごとに若者からの敬意を少しずつ失って、さらに信用できなくなるのだ！人民共同体と利権の束縛の打破、生命と環境の保護、ドイツ文化革命、大ドイツの自由と統一と中立、ヨーロッパの新秩序に対する我々の中心的な要求を「犯罪」として非難し、その結果、時代の転換点の必要性和新しい秩序の必要性を年々はっきりと認識している人々の間で理解が得られなくなるのである！

歴史的なSAにおいて最初にもたらされ、その悲劇を構成したSAの伝統の側面は、当然ながら、我々の数的・政治的弱さのために、まだ特別な役割を担っていない。

しかし、Wehrsportgruppenと武装抵抗に対する我々の態度を明らかにする際に、我々はそれにもかかわらず、この問題の表現に早い段階で直面し、最終的に解決することができた。若いSAシュトルムを兵士としてだけでなく準軍事的な部隊にしようとしたのは、私の第一副官だった。

1977年10月、カール・ハインツ・ホフマンとの彼自身の交渉の中で、その対立は明らかになった。ホフマンは従属を要求し、外見上の政治活動の放棄を要求した。私は拒否し、副官は私たちから離れ、シュレスヴィヒ・ホルシュタインの軍事スポーツ団体に入り、ついには地下に潜ってしまった。

私たちの軍隊は、昔も今も軍事スポーツに反対しているわけではありません。軍事スポーツは、私たちの戦闘員を訓練し、兵士としての生活態度を教育するのに役立ちますが、基本的に政治闘争に従属するものであり、決してそれ自体が目的になってはいけません。我々の政治的兵士は、兵士的な力を形成しているが、軍事的な力ではないことを常に明確にしておかなければならない。しかし、われわれはまた、権力の掌握後、この部隊が来るべき革命軍の中核を形成することを維持する！

そうすることで、私たちはSAの伝統に対する私たちのコミットメントの9つの側面を明らかにしました：それらは互いに関連し、内なる統一を形成しています。その際、私たちはまず歴史的なSAの歴史からそれらを導き出し、次にそれらを現在に適用しました。実際には、このプロセスは逆に行われました。政治家としての自己イメージと生活態度から出発して、私たちの伝統のこれらの側面は、8年間の具体的な信仰の戦い、その誤り、挫折、誘惑、そして最後に最初の大成功から生まれました。その後、これらの洞察を過去に適用して、相続人としての正統性を確認するためにそこで見つけました。過去から現在へ、現在から過去へ-リングは閉じられ、伝統は守られ更新される！茶色のシャツを着た戦士、国家社会主義運動の政治的兵士は、私たちの中で生き続けている。彼は勝利するのだ！



**NS KAMPFRUF**  
KAMPFSPRÜFUNG DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934      Ausgabe 1273      26. April 2017 02.06

**Der Kampf geht weiter !**

Wahing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenmord, Verbrechen, Verfolgung und Verdrängung haben nicht abgerufen, das Kreuz der goldenen Aue unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu entziehen.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Täter- und Kampfgemeinschaften Schicksal als Schicksal im Kampf um die Erlösung unserer weißen Völker.

Die Bewegung ist zwar stärker geworden, aber die Gefahr des biologischen Völkermord ist keine noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmliche Aufgabe ist also nicht, den Völkermord - gegen alle wissen Völker (V) - zu begreifen. Keine Mittel und Eisenbahnen, Überflutung und Kampfgemeinschaft.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenmord, ob mit Propagandamaterialien oder auf einem Schlachtfeld anderer Art: Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hail Hitler!  
Gerdhard Lauth



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**



**N.S.ニュース速報A**  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)  
#1005      19.06.2022 (133)

**NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA**

フロントレポート  
モリーへのインタビュー

第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind ([www.movingtheancient.com/truth.htm](http://www.movingtheancient.com/truth.htm))に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増量期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




**the NEW ORDER**  
Number 176 (132)      Founded 1978      April 26, 2021 (132)

**The Fight Goes On !**

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defacement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind: every National Socialist must do his duty!

Hail Hitler!  
Gerdhard Lauth



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**

# NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物  
多くの言語の何百冊もの本  
多くの言語の何百ものウェブサイト



**BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!**  
[www.third-reich-books.com](http://www.third-reich-books.com)



**NSDAP/AO**  
**Fight Back!**



[nsdapao.org](http://nsdapao.org)  
Contact us to find out how YOU can help!